

理科 第2学年 年間指導計画・評価計画

月	学習単元・内容・ねらい(時数)	評価の観点 (重み%)	評価規準	主な 評価方法
4 5 6	1. 化学変化と原子・分子 (35時間) 1章 物質のなり立ち 2章 物質どうしの化学変化 3章 酸素がかわる化学変化 4章 化学変化と物質の質量 5章 化学変化とその利用 【単元の目標】 化学変化についての観察、実験を通して、化合、分解などにおける物質の変化やその量的な関係について理解させるとともに、これらの事物・現象を原子や分子のモデルと関連付けてみる見方や考え方を養い、物質の成り立ちや化学変化のしくみに対する興味・関心を高める。	関心・意欲・態度 (25%)	化学変化に関する事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探究するとともに、事象を人間生活とのかかわりで見ようとする。	提出物 実験・観察 レポート 授業観察
		思考・表現 (25%)	化合、分解などの変化やその量的な関係について原子や分子のモデルと関連付ける見方や考え方をもとに事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、表現している。	実験・観察 レポート 試験 (定期・単元・小) 授業観察
		技能 (25%)	化合、分解などの化学変化に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	実験・観察 レポート 試験(定期・単元・小) 授業観察
		知識理解 (25%)	化学変化について観察や実験などを通して、化合、分解などにおける物質の変化やその量的な関係についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	試験 (定期・単元・小) 授業観察
7 9 10	2. 動物の生活と生物の変遷 (40時間) 1章 生物と細胞 2章 動物のからだのつくりとはたらき 3章 動物の分類 4章 生物の変遷と進化 【単元の目標】 生物のからだは細胞からできていることを、観察を通して理解する。また、動物などについての観察・実験を通して、動物のからだのつくりとはたらきを理解し、これらにもとづいて動物が分類できることなどを理解する。さらに、さまざまな動物の比較から分析・解釈を行い、生物の変遷について理解する。単元全体を通じ、自然環境を保全し生命を尊重しようとする意欲と態度を育てる。	関心・意欲・態度 (25%)	動物とそれを取り巻く自然の事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探求するとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとする。	提出物 実験・観察 レポート 授業観察
		思考・表現 (25%)	動物の体のつくりと働きの中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、表現している。	実験・観察 レポート 試験 (定期・単元・小) 授業観察
		技能 (25%)	動物の体のつくりと働きに関する観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探求する技能を身につける。	実験・観察 レポート 試験(定期・単元・小) 授業観察
		知識理解 (25%)	観察や実験などを通して、生物の体が細胞からできていること動物の体のつくりと働きや種類に関する基本的な概念や原理、法則を理解し、知識を身に付けている。観察や実験などを通して、固体や液体、気体の性質、物質の状態変化についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	試験 (定期・単元・小) 授業観察
11	3. 天気とその変化 (30時間) 1章 気象の観測と雲のでき方 2章 前線とまわりの天気の変化 3章 大気の動きと日本の天気	関心・意欲・態度 (25%)	気象に関する事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探求するとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとする。	提出物 実験・観察 レポート 授業観察
		思考・表現 (25%)	気象要素と天気の変化の関係や気象現象が起こる仕組みや規則性の中に問題を見い	実験・観察 レポート 試験

12	<p>【単元の目標】 身近な場所で気象観測を継続的に行い、その観測記録や資料をもとに、気象要素と天気の変化の関係を見出す。その際、体験的な活動などを通して、気象に関する興味・関心を高める。天気の変化が注として大気中の水の状態変化と大気の動きによって引き起こされることを理解するとともに、日本の天気の特徴をとらえ、気象現象の起こるしくみと規則性について理解する。その際、観測記録や資料などの分析や解釈、レポートの作成や発表を行い、思考力、表現力を習得する。</p>		だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、表現している。	(定期・単元・小) 授業観察
		技能 (25%)	気象要素と天気の変化の関係や気象現象が起こる仕組みや規則性に関する観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能を身につける。	実験・観察レポート 試験(定期・単元・小)
		知識理解 (25%)	観察や実験などを通して、気象要素と天気の変化の関係や気象現象が起こる仕組みや規則性に関する基本的な概念や原理、法則を理解し、知識を身につけている。	授業観察 試験(定期・単元・小)
1 2 3	<p>4電気の世界 (35時間) 1章 静電気と電流 2章 電流の性質 3章 電流と磁界</p> <p>【単元の目標】 小学校で学習した「磁石の性質」「電気の通り道」「電気のはたらき」「電気の利用」など、電流のはたらきや磁石の性質をもとに、電流回路についての観察・実験を通して、電流と電圧との関係および電流のはたらきについて理解する。また、静電気に関わる観察、実験を行い、静電気の基本的な性質を理解する。これらをもとに、日常生活と関連づけて電流と磁界について初歩的な見方や考え方を養い、電流とその利用に対する興味・関心を高める。</p>	関心・意欲・態度 (25%)	電気に関する事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探究するとともに、事象を人間生活とのかかわりでみようとする。	提出物 実験・観察レポート 授業観察
		思考・表現 (25%)	電流と電圧との関係、電流の働きや電流と磁界に関する事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、表現している。	実験・観察レポート 試験(定期・単元・小) 授業観察
		技能 (25%)	電流回路や電流と磁界に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている	実験・観察レポート 試験(定期・単元・小)
		知識理解 (25%)	観察や実験などを通して、電流と電圧との関係、電流の働きや電流と磁界についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	授業観察 試験(定期・単元・小)